

令和4年度 宮城県発達障害者支援センター事業

アセスメント技術を高める研修会（オンライン形式）要項

1 趣 旨：

発達障害は年齢や環境により目立つ特性も異なるため、一つの機関だけで支援をおこなうことは困難とされています。この研修は、多職種共同による事例持ち寄り型のグループ討議が中心です。日頃現場で活躍されている発達障害支援に携わる県内の各分野の専門職が会する場となります。地域で開催される事例検討会やケース会議、サービス調整会議など包括的なチーム形成の一助になることを目指し実施するものです。

2 講 師：大正大学 心理社会学部臨床心理学科 教授 近藤 直司 氏

3 内 容：オンライン（Zoom）での講義・グループワーク
ケースレポートとケース検討会議の演習になります。受講決定者には、後日事前課題を送付します。
なお、各グループにはファシリテーターが1名ずつ配置されます。

4 日 時：令和4年11月22日（火）9：30～16：00（接続開始9：20～）

5 対象者：発達障害支援に携わる行政職員・司法機関職員・相談支援事業所職員・
その他障害福祉サービス従事者・病院職員・県立特別支援学校地域支援部
特別支援教育コーディネーター

6 定 員：20名（一事業所につき2名まで）

7 参加費：無料

8 主 催：宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」

9 日 程：

11月22日（火）	
9：20 ～ 9：30	受講者接続開始
9：30 ～ 9：35	説明・オリエンテーション
9：35 ～ 11：55	開会 講義・グループワーク（5分レポート）
11：55 ～ 13：00	昼休憩
13：00 ～ 15：30	講義・グループワーク（ケース会議の演習）
15：30 ～ 16：00	講評・質疑・意見交換
16：00	閉会

10 受講に際しての留意点

下記内容をよくお読みいただいたうえで、お申し込みください。

- ・新型コロナウイルス感染予防の観点から、オンラインでの開催となります。長時間の研修となるため、安定したインターネット回線をご利用ください。
 - ・グループワークを実施しますので同じ端末から複数名の受講はできません。一事業所から複数名受講される場合は、一人一台のご準備をお願いいたします。
 - ・「画面が見えない」「音声聞こえない」などのパソコンや通信の環境に関するエラーについては、「えくぼ」では対応いたしかねます。
 - ・受講の際は、出席の確認のため、休憩以外はカメラをオン(顔を写す)にさせていただきますようお願いいたします(カメラ機能がない端末のご利用は、極力お控えください)。
 - ・事前課題は、発達障害の事例についてレポートをしていただきます。可能な限り実際に関わったことのある事例を取り上げていただきますようお願いいたします。
 - ・研修会当日は、受講者の方にも端末上での課題修正や画面共有などの操作をしていただきます。操作に不安のある方は接続テストへもご参加いただきますようお願いいたします。
- ※接続テストの日程及びURL については、受講が決定された方へ事前課題配付時に併せてお知らせいたします。
- ・体調不良等で研修会を欠席される見通しになった場合は、「えくぼ」へお電話またはメールにてご連絡ください。

11 参加申込み方法：別紙申込用紙にて e-mail での受付となります。

申込み締め切りは10月7日(金)です。

12 その他：事前課題は10月11日以降、受講決定の事業所宛てにメールにて送付いたします。

※事前課題は、パソコン等でのデータ入力で作成していただくようお願いいたします。